



国鉄労働組合 北陸地方本部
 (NTT)076-231-1506 (FAX)076-231-1114 (JR)065-2393
 (Mail)nru-hk@m2.spacelan.ne.jp
 発行人 藤野 能章
 編集人 山田 輝男

第79回 定期地方大会

加速する職場環境の変動。労働組合の本来の姿を！

労働者のための闘う運動方針を採択！！

コロナ禍及び大雨の中開催される

国労北陸地方本部は8月20日、石川県平和と労働会館において、第79回定期地方大会を開催しました。大会は、石川県労連、日本共産党石川県委員会等来賓の方々もコロナ禍の中駆けつけて頂きました。西日本本部からはコロナの影響で出席出来ず、他地本同様メッセージでの参加となりました。

代議員の主な発言

- ・糸魚川駅で社割にて特急券を買ったが、20分待つて購入した。年配者には20分はとても長い時間である。
- ・出向先でも、若い社員に運動の話をしている。
- ・仕業検査の期間が延長されているが、故障等心配である。



- ・七尾線で「みどりの窓口」があるのは1駅だけになった。和倉温泉駅も無人駅になって、車イス、遺失物、券売機トラブルなど対応に追われている。また、遠隔MVはなかなか繋がらない。

- ・七尾線のワンマン列車の2両と4両のICの利用方が違う。トラブルが多く2両運転でも全ドア扱いにして欲しい。

- ・社会の全ての物価が上がっている。ストライキを行ってでも、賃金が上がらないといけない。

- ・リモートの環境整備を行うようになっているが、リモートが出来る者は、今日もリモートにして欲しかった。帰りの列車が心配である。

- ・職場でもコロナ陽性者や接触者が出てきている。

- ・8月4日の災害で、出勤出来ない社

員がいるが、運転職場でもそういう場合の仕事のやり方など、もっと考えておく必要があるのではないかと。今年も組合説明会を行った。諦めずに組織拡大に向けて奮闘していく。

太田書記長のまとめ

- ・分割民営化以降、当然赤字ローカル線もJRが面倒を見ていかなければならない。自治体や利用者がLRTの方が便利などの要因があれば見守っていきたい。その際JRには関連を求めていく。

- ・敦賀延伸による合理化が推し進められているが、安全な鉄道は引き続き追及していかねばならない。今後も「申し入れ」を強化していく。

- ・実質の賃金は大きく下がっている。23春闘は全力で奮闘する。
- ・リモートの環境整備は行っているが、やはり集まって討論していくことが大切である。

- ・分会の統合等は、退職や延伸による出向など、機会を見て議論されることになるだろう。

